

高教組速報

第1号

(教職員全員配布)

2011年 4月25日

長崎高教組 長崎市中川2丁目2-5 TEL(095)827-5882

文責 馬場 隆

教育長交渉を4月28日に実施します

高教組は、4月28日に今年の春闘要求についての教育長交渉を実施します。今年の春闘要求書は、2月に実施した春闘要求アンケート等を参考にしながら、分会でおこなわれた職場討議の集約結果をふまえて、81項目の要求にまとめ、3月14日に提出したものです。



「土日も休みなし、早朝・放課後の補習などで多忙になってしまう学校が増えている。職員の数を増やすなどして1人あたりの仕事量を減らしてほしい」(40代女性)

「30日間連続で出勤のことがよくあります。定員の確保をお願いしたい。」(20代男性)

「部活動をしていても月に2回は休日が必要です。病気になりそうで不安です。」(30代女性)

春闘要求アンケートでは 多忙化解消、定数増等を求める声が多く

春闘要求アンケートでは、現場の教職員のみなさんの多様な要求及び県教委に対する意見が寄せられました。特に多かったのは、多忙化の解消、教職員定数の増員、部活動手当の改善等を求める声でした。

「慢性的なサービス残業と土日勤務で次の休日をどこで確保できるのか分からず、体力的に不安です。労働法違反の状況を改善してほしい。」(40代男性)

「部活動手当が4時間以上でないと出ないのは疑問。休日の予定も返上して来ているので、1時間・2時間から出してほしい」(20代女性)

「時間もない、金もない、ないない尽くしの教員の生活の安定をまず図るべき、そうすればハレンチな不祥事は起こらない！」(50代男性)

新任の渡辺教育長に 現場の教職員の声を伝えます

28日の交渉には、4月1日に就任したばかりの渡辺敏則教育長が出席します。高教組は、上記のような問題を中心に、教職員の切実な要求を教育長に伝え、その実現を求めます。

渡辺教育長は、長崎新聞のインタビューで「学校現場の声を大切にしたい」と述べています。私たち高教組は、県教委の幹部や管理職経由ではなく、現場の教職員の声を、教育長に直接伝えることのできる組織です。教育長に伝えたいご意見をお持ちの方は、高教組本部へご連絡ください。



※電話番号等は上部に記載しています。
FAX 番号 095-826-2976

労働条件の改善を引き出すのは団結の力です 高教組への加入をお待ちしています